

星陵中学校・高等学校

「コロナに負けるな・学びを止めるな」 学びのオンライン化のとりくみ(報告①)

星陵中学校・高等学校では、休校期間中であっても生徒に不利益が生じないようにさまざまな方法で教育活動を実践しています。

新型コロナウイルスの影響によって社会全体の動きが鈍化しているわけですが、それを理由にして生徒の「学ぶ権利」を奪ったり「学力」を低下させたりしてはならないとの使命感を全職員が抱いています。

星陵中学校・高等学校ではこれまでもICT教育に力を入れてきたことから、前例のない対応が迫られている現状においてもスムーズに授業のオンライン化に移行することができました。生徒が登校できない環境下においても「Classi」・「ロイロノート」などの教育支援ツールを利用することで教員と生徒間における双方向性の高い学習環境を実現しています。

オンライン授業の中で教科を問わず活用されているのが「ロイロノート」です。ロイロノートは、株式会社LoiLoが開発し、全国の高校で導入が進んでいる、「思考力」「プレゼン力」「英語4技能」を育てるクラウド授業支援アプリです。生徒に対して連絡事項や課題を配信することができ、教員は生徒の反応を一つの画面で把握することができます。本校でのとりくみは以下の通りです。

- ・ Classiと並行して朝・帰りのホームルームの連絡事項を配信しています。
- ・ 一つの画面で生徒の様子を把握しやすい利点を活かして、朝のホームルームでは生徒一人ひとりの体調を確認するようにもしています。
- ・ 授業担当者が課題を配信・回収しており、生徒が提出した課題に対しては直接書き込みできる機能を利用し、個別指導に似た学習環境を構築しています。



学校向け 授業支援アプリ
ロイロノート・スクール

